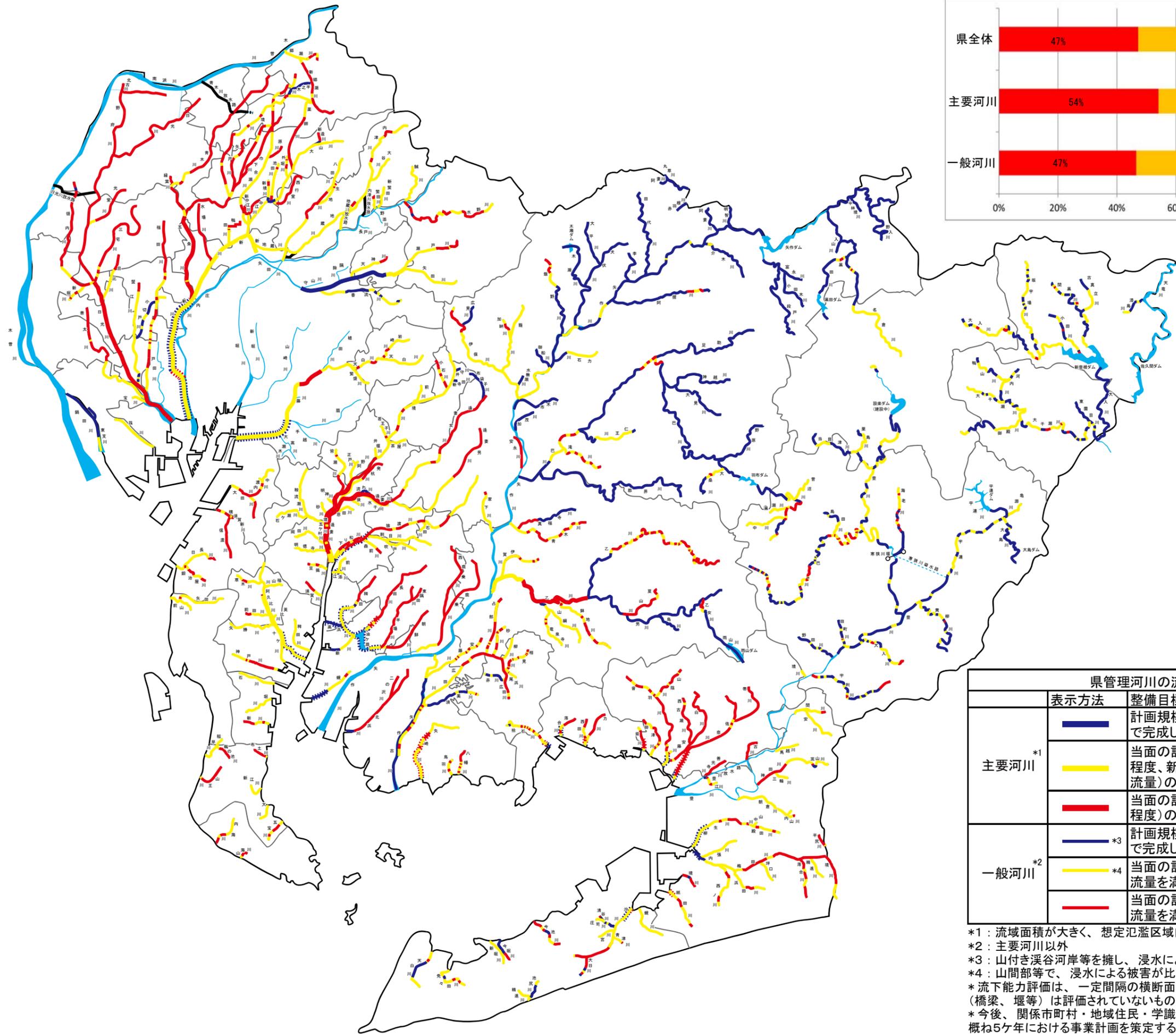
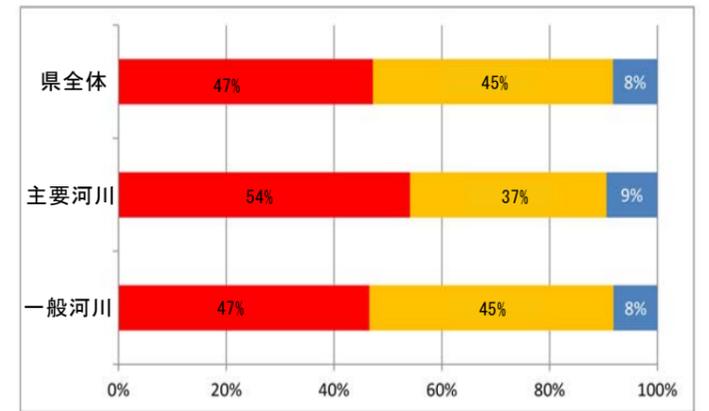


# 愛知県管理河川 水害リスク評価図（平成26年度末時点）

名古屋市除く

整備状況



凡 例	
——	放水路 供用済
——	放水路 建設中
高潮区間の堤防の評価	
——	整備済区間
——	未整備区間

県管理河川の流下能力評価		
	表示方法	整備目標
主要河川 <sup>*1</sup>	——	計画規模(年超過確率1/50~1/100程度)で完成している区間。
	——	当面の計画規模(年超過確率1/20~1/30程度、新川・天白川については激特計画流量)の流量を満足する区間。
	——	当面の計画規模(年超過確率1/20~1/30程度)の流量を満たさない区間。
一般河川 <sup>*2</sup>	—— <sup>*3</sup>	計画規模(年超過確率1/30~1/50程度)で完成している区間。
	—— <sup>*4</sup>	当面の計画規模(年超過確率1/5程度)の流量を満足する区間。
	——	当面の計画規模(年超過確率1/5程度)の流量を満たさない区間。

\*1：流域面積が大きく、想定氾濫区域内に人口・資産が集積する河川  
 \*2：主要河川以外  
 \*3：山付き溪谷河岸等を擁し、浸水による被害がない区間を含む。  
 \*4：山間部等で、浸水による被害が比較的少ない区間を含む。  
 \* 流下能力評価は、一定間隔の横断面で評価しているため、局部的なもの(橋梁、堰等)は評価されていないものもあります。  
 \* 今後、関係市町村・地域住民・学識経験者などの意見を踏まえ、概ね5ヶ年における事業計画を策定する予定であります。